

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（連結）

平成 18 年 2 月 10 日

会 社 名 フィールズ株式会社

（JASDAQ コード番号：2767）

（URL <http://www.fields.biz>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 山本 英俊

問 い 合 わ せ 先 責 任 者 役 職 名 取締役管理本部長

氏 名 山中 裕之

（Tel：(03) 5784 - 2111(代)）

1．四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有 税金費用の計算等につきましては、一部簡便な方法を採用しております。

最近連結会計年度から会計処理の方法の変更の有無：無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無：有 連結（新規）社（除外）2社
持分法（新規）社（除外）社

連結子会社でありましたプロフェッショナル・マネージメント(株)、トータル・ワークアウト(株)及びジェイ坂崎マーケティング(株)は、平成 17 年 10 月 1 日付で 3 社合併を行い、ジャパン・スポーツ・マーケティング(株)となりました。その結果、連結の範囲から 2 社減少（除外）しております。

2．平成 18 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 4 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日）

（1）経営成績（連結）の進捗状況

（百万円未満は切り捨てて表示しております）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3四半期	43,957	(7.1)	1,359	(58.1)	1,754	(48.4)	683	(66.2)
17年3月期第3四半期	41,027	(11.2)	3,241	(52.4)	3,401	(52.3)	2,024	(48.9)
(参考)17年3月期	81,658		12,097		12,480		6,926	

	1株当たり四半期（当期）純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3四半期	1,968 81	
17年3月期第3四半期	5,925 30	
(参考)17年3月期	19,888 61	

（注）1. 期中平均株式数 平成 18 年 3 月期第 3 四半期 347,000 株 平成 17 年 3 月期第 3 四半期 341,666 株
平成 17 年 3 月期 343,000 株

2. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

【経営成績（連結）の進捗状況に関する定性情報等】

当社グループでは《すべての人に最高の余暇を》の企業理念の下、パチンコ・パチスロ遊技機のみならず幅広い分野にコンテンツのマルチユースを展開するコンテンツプロバイダー戦略を推進し、企業価値と株主価値のますますの増大に努めております。

近年、経済産業省が次代の日本経済を担う「新産業創造戦略」を提唱し、中でもアニメーション、マンガ、映画、音楽などの日本発のコンテンツの育成と拡大への取り組みが重要視されております。当社グループではこうした状況に鑑み、デジタルコンテンツを中心とするコンテンツプロバイダー戦略を事業の推進エンジンといたしてまいりました。ゲーム分野では(株)ディースリー・パブリッシャー（以下、D3P）が日米欧の 3 軸体制でコンテンツの企画・開発・流通に一貫して取り組んでおります。ジャパン・スポーツ・マーケティング(株)は我が国のスポーツ・マーケティング分野の草分けとして、野球、サッカー、ラグビー、ゴルフなど内外のトップ団体に対して大きな影響力を有しており、スポーツイベントの開催・運営、放送権販売などはもちろん、各界一流アスリートの生涯にわたるマネジメント、また一流アスリートの心身の鍛錬をサポートするスポーツジムなど多岐にわたるスポーツ事業を一貫して手がけております。スポーツは国境や言語を超える世界的なコンテンツとしての魅力を持っており、この分野から創出される様々なスポーツコンテンツがグル

ープ各社の事業展開を牽引いたしてまいります。

当社の持分法適用関連会社である(株)角川春樹事務所との協業も順調に推移いたしております。角川春樹事務所は、平成 17 年末に劇場公開された「男たちのヤマト/YAMATO」が大ヒットを記録し、映画・出版・音楽のメディアミックス効果を遺憾なく発揮いたしております。今後は角川春樹事務所コンテンツのさらなるマルチユース展開にグループ各社を挙げて取り組んでまいります。

主力事業であるパチンコ・パチスロ市場においては、主要メーカー各社が株式上場を果たすなど上流部門が先行する形で産業としての成熟化が進んでまいりましたが、ホール経営企業においても昨年末に上場申請が実施されるなど成熟化への動きが顕著となってきました。こうした産業としての成熟化は、より健全でより洗練された市場へと向かわせる原動力になり得ると考えられます。またこれを機に遊技機開発においても、射幸性への依存度を著しく軽減し、より広範な人々のニーズを反映したエンタテインメント性あふれるコンテンツ重視の内容へと大きく変化してくるものと予測されます。このような流れは異業種大手企業のパチンコ参入を促進する活性剤として機能するものと期待され、パチンコ市場は中期的には大きな飛躍のチャンスを迎えるものと考えられます。当社では、このような産業構造転換の動きを大きなビジネスチャンスと捉え、グループ各社を挙げてコンテンツプロバイダー戦略へのさらなる取り組み強化を実施いたしてまいり所存でございます。

このような環境下、弊社では平成 17 年度を、より一層の飛躍をめざすための各事業におけるあらゆる角度からの点検・検証及び改善のタームと位置付け、コンプライアンス並びにコーポレート・ガバナンス体制の強化充実をはじめ各種課題に取り組んでまいりました。その結果、パチンコ・パチスロ事業における提携メーカー各社との関係改善に著しい進捗が見られ、今後は当社がめざすエンタテインメント性あふれるコンテンツ重視の遊技機を遅滞なく市場投入できる体制を確立することができました。

そうした環境整備に取り組む中、当第 3 四半期（平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで）は、パチンコ機におきましては、平成 17 年 10 月に「CR マリリン・モンロー」を、同 12 月には「CR 明日があるさ よしもとワールド」を発売いたしました。前者は世界的有名女優との、また後者は吉本興業(株)の全面的協力を得てお笑いのトップスター 10 人を一堂に集めた大型タイアップ企画でございます。いずれも幅広い層に訴求することでパチンコファンの裾野拡大を目的として開発され、全国ホールで好評を博しました。

パチスロ機におきましては、平成 17 年 9 月に市場投入いたしました業界初の新規則対応機「新世紀エヴァンゲリオン」が当第 3 四半期も引き続き堅調に推移し、現在に至るまで新規則対応機市場におきましては販売および設置ともにシェアトップの座を占めております。また旧規則対応機につきましては、将来にわたる市場動向をにらみつつ代行店販売機種種の拡販に注力いたしてまいりました。

上記のような営業活動の結果、連結の業績に関しましては、当期より(株)ディースリー・パブリッシャーを持分法適用関連会社から連結子会社化したことにより売上高および販管費が増加いたしました。当期 D3P は持株会社移行など戦略的かつ積極的な資本政策を実行する一方、平成 17 年 10 月期決算において過去最高の経常利益を達成いたしております。その他連結子会社につきましては、計画通り推移いたしております。

また、個別の業績に関しましては、パチスロ機において、市場動向をにらみつつ仕入方式の総発売元ブランドの旧規則対応機を当第 4 四半期以降に延期し、手数料方式となる代行店販売機種に注力したため前年同期比 1,523,901 千円（前年同期比 3.8%減少）と減少いたしました。売上総利益につきましては、前期より継続販売いたしました「鬼武者 3」が高性能部材を搭載したため仕入原価が上昇したことを主要因として、前年同期比 711,488 千円（同 6.0%減少）減少いたしました。また販管費につきましては、著作権（商品化権）取得から商品企画、画像並びに液晶ユニット開発まで一貫して手がけるための企画・開発体制の整備に関わる開発本部並びにマーケティング室を中心とする人員増強、さらに将来の販売網の拡大に備えて基幹システムを中心とする業務効率化のための情報化投資を積極的に実施した結果、前年同期比 1,454,248 千円（同 17.0%増加）増加となりました。

この結果、当第 3 四半期の当社の連結業績は、売上高 43,957,425 千円（前年同期比 7.1%増）、営業利益 1,359,330 千円（同 58.1%減）、経常利益 1,754,203 千円（同 48.4%減）、当期純利益 683,178 千円（同 66.2%減）となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3四半期	47,558	33,317	70.0	96,014 71
17年3月期第3四半期	40,254	28,378	70.5	81,781 54
(参考)17年3月期	72,584	33,426	46.0	96,026 73

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3四半期	5,836	2,423	1,145	15,603
17年3月期第3四半期	4,149	3,578	9,629	7,340
(参考)17年3月期	2,965	5,257	10,177	13,326

【財政状態(連結)の変動状況に関する定性情報】

当第3四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、税金等調整前四半期純利益が1,709,068千円となり、売上債権の減少、仕入債務の減少もあり、支店の移転など支払が増加しましたが、前連結会計年度に比べ2,277,658千円増加し、当第3四半期末には15,603,915千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は5,836,825千円となりました。これは主に売上債権の減少31,986,304千円及び仕入債務の減少22,734,796千円と法人税等の支払5,521,396千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、2,423,936千円となりました。これは主に有形固定資産の取得690,405千円(主な内訳は支店の移転による建物の取得)及び関係会社株式の取得962,560千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は1,145,001千円となりました。これは主に短期借入金の返済220,200千円、長期借入金の返済262,201千円及び配当金の支払1,284,808千円によるものであります。

3. 平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	91,753	11,127	5,793

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期) 16,391円93銭

当期第4四半期は前述いたしましたように提携メーカー各社との関係改善に著しい改善が見られ、商品企画・開発・供給の磐石の仕組みが構築されました。この結果、競争力にすぐれた商品を持続的に市場投入することが可能となり、当第4四半期におきましては、保有いたしております旧規則対応パチスロ機3機種、新規則対応パチスロ機5機種、パチンコ機5機種の市場投入の準備を進めてまいりました。まず本年1月に発売の「CR 魁!!男塾」がご好評をいただいたのに引き続いて、「CR 新世紀エヴァンゲリオン・セカンドインパクト」がご高承のように予想を上回る受注を頂戴しております。また、当第4四半期に発表いたしました旧規則対応パチスロ機「俺の空」も全国の顧客ホールから大きな支持をいただき、順調に受注を伸ばしております。その結果、通期業績に関しては計画通り順調に推移いたす見通しでございます。なお、今後の発売予定等につきましては、顧客パチンコホール、パチンコファンなどの動向を見きわめつつ、決定次第速やかにお知らせ申し上げます。その他連結子会社の業績予想についてはおおむね計画通りに推移いたしております。

平成18年3月期の連結業績予想については、「業績予想の修正に関するお知らせ」(平成17年8月26日)から変更はございません。

(要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(平成17年3月期第3四半期末)		(平成18年3月期第3四半期末)		平成17年3月期	
			(平成16年12月31日現在)		(平成17年12月31日現在)		(平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%		%
流動資産								
1. 現金及び預金	7,340,906		15,603,915		13,326,256			
2. 受取手形及び売掛金	13,187,648		5,616,662		37,667,536			
3. 有価証券	5,000				5,000			
4. たな卸資産	407,035		346,441		480,171			
5. 商品化権前渡金	3,014,829		3,743,765					
6. その他	4,327,986		4,541,973		5,608,882			
7. 貸倒引当金	44,471		33,533		87,140			
流動資産合計	28,238,934	70.2	29,819,225	62.7	57,000,705	78.5		
固定資産								
1. 有形固定資産	4,712,988	11.7	4,729,105	9.9	4,857,578	6.7		
2. 無形固定資産	896,796	2.2	3,340,306	7.0	1,706,367	2.4		
3. 投資その他の資産								
1) 投資有価証券	3,975,325		6,380,470		5,545,899			
2) その他	2,524,156		3,512,173		3,653,004			
3) 貸倒引当金	93,680		222,554		179,008			
投資その他の資産合計	6,405,801	15.9	9,670,089	20.4	9,019,895	12.4		
固定資産合計	12,015,586	29.8	17,739,501	37.3	15,583,841	21.5		
資産合計	40,254,520	100.0	47,558,726	100.0	72,584,547	100.0		

(単位：千円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(平成17年3月期第3四半期末)		(平成18年3月期第3四半期末)		平成17年3月期	
			(平成16年12月31日現在)		(平成17年12月31日現在)		(平成17年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負 債 の 部)		%		%		%		%
流動負債								
1. 買掛金	6,315,675		5,143,660		27,479,525			
2. 短期借入金	230,000		430,000		656,600			
3. 1年内返済予定長期借入金	81,000		232,068		341,768			
4. 1年内償還予定社債			50,000					
5. 賞与引当金	5,000		9,652		20,000			
6. その他	1,792,394		2,527,664		4,812,214			
流動負債合計	8,424,069	20.9	8,393,046	17.7	33,310,107	45.9		
固定負債								
1. 社債			550,000		500,000			
2. 長期借入金	439,000		430,664		593,165			
3. 退職給付引当金	124,265		165,242		139,140			
4. 役員退職慰労引当金	549,500		592,200		568,700			
5. その他	2,313,912		2,350,866		2,384,503			
固定負債合計	3,426,678	8.5	4,088,973	8.6	4,185,508	5.8		
負債合計	11,850,748	29.4	12,482,019	26.3	37,495,616	51.7		
(少 数 株 主 持 分)								
少数株主持分	25,579	0.1	1,759,601	3.7	1,662,657	2.3		
(資 本 の 部)								
資本金	7,948,036	19.7	7,948,036	16.7	7,948,036	10.9		
資本剰余金	7,994,953	19.9	7,994,953	16.8	7,994,953	11.0		
利益剰余金	12,231,171	30.4	16,716,385	35.1	17,133,487	23.6		
その他有価証券評価差額金	204,032	0.5	648,455	1.4	349,796	0.5		
為替換算調整勘定			9,276	0.0				
資本合計	28,378,193	70.5	33,317,106	70.0	33,426,273	46.0		
負債、少数株主持分及び資本合計	40,254,520	100.0	47,558,726	100.0	72,584,547	100.0		

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別		前第3四半期		当第3四半期		(参考)	
			(平成17年3月期第3四半期)		(平成18年3月期第3四半期)		平成17年3月期	
			(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売上高	41,027,860	100.0	43,957,425	100.0	81,658,011	100.0	81,658,011	100.0
売上原価	28,661,968	69.9	30,255,387	68.8	56,905,614	69.7	56,905,614	69.7
売上総利益	12,365,891	30.1	13,702,037	31.2	24,752,397	30.3	24,752,397	30.3
販売費及び一般管理費	9,124,873	22.2	12,342,707	28.1	12,655,173	15.5	12,655,173	15.5
営業利益	3,241,017	7.9	1,359,330	3.1	12,097,224	14.8	12,097,224	14.8
営業外収益	402,372	1.0	428,075	1.0	655,950	0.8	655,950	0.8
営業外費用	242,112	0.6	33,203	0.1	272,602	0.3	272,602	0.3
経常利益	3,401,278	8.3	1,754,203	4.0	12,480,571	15.3	12,480,571	15.3
特別利益	384,145	0.9	162,809	0.4	346,893	0.4	346,893	0.4
特別損失	227,983	0.6	207,943	0.5	266,618	0.3	266,618	0.3
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,557,440	8.6	1,709,068	3.9	12,560,847	15.4	12,560,847	15.4
法人税、住民税及び事業税	1,184,648	2.9	1,176,107	2.7	5,403,841	6.6	5,403,841	6.6
法人税等調整額	340,713	0.8	147,447	0.3	217,712	0.3	217,712	0.3
少数株主利益	7,602	0.0	2,769	0.0	12,502	0.0	12,502	0.0
四半期(当期)純利益	2,024,475	4.9	683,178	1.5	6,926,791	8.5	6,926,791	8.5

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	(参考)
		(平成17年3月期第3四半期)	(平成18年3月期第3四半期)	平成17年3月期
		(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー				
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益		3,557,440	1,709,068	12,560,847
2. 減価償却費		394,505	897,002	568,604
3. 連結調整勘定償却		1,111	106,761	1,481
4. 貸倒引当金の増加・減少()額		41,066	36,443	2,729
5. 賞与引当金の増加・減少()額		13,600	10,347	1,400
6. 退職給付引当金の増加・減少()額		3,450	26,102	9,110
7. 役員退職慰労引当金の増加・減少()額		150,300	23,500	131,100
8. 受取利息及び受取配当金		15,367	35,532	17,157
9. 持分法による投資利益		211,114	77,154	421,667
10. 支払利息		12,098	17,102	14,783
11. 新株発行費		61,397	803	91,906
12. 社債発行費			2,400	10,750
13. 増資関連費用		92,815		112,494
14. 固定資産売却益			125,462	
15. 投資有価証券売却益		162,685		162,685
16. 匿名組合投資利益			29,728	45,171
17. 固定資産除却損		61,431	106,899	89,416
18. 減損損失			56,819	
19. 投資有価証券評価損		166,477	4,320	175,534
20. 投資有価証券売却損			5,748	
21. 出資金評価損			22,609	
22. 売上債権の減少・増加()額		5,703,879	31,986,304	18,363,214
23. たな卸資産の減少・増加()額		155,998	81,044	54,621
24. 商品化権前渡金の減少・増加()額		1,294,753	431,011	1,592,677
25. 前払費用の減少・増加()額		182,401	598,429	34,850
26. 立替金の減少・増加()額		373,168	2,345	74,885
27. 保管手形の減少・増加()額		158,822	46,198	122,482
28. 営業外受取手形の減少・増加()額		275,116	699,831	415,283
29. 営業保証金の増加・減少()額			96,993	10,000
30. 仕入債務の増加・減少()額		5,956,166	22,734,796	15,760,989
31. 未払消費税等の増加・減少()額		531,908	311,615	269,189
32. 預り金の増加・減少()額		191,799	104,898	3,529
33. 預り保証金の増加・減少()額		1,120,314	27,743	1,216,687
34. 役員賞与の支払額		85,000	105,000	85,000
35. その他		1,057,885	30,290	638,018
小計		997,990	11,305,101	9,769,999
36. 利息及び配当金の受取額		34,974	69,365	39,248
37. 利息の支払額		12,104	16,244	14,103
38. 法人税等の支払額		5,170,206	5,521,396	6,829,288
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,149,346	5,836,825	2,965,857

(単位：千円)

科 目	期 別	前第3四半期	当第3四半期	(参考)
		(平成17年3月期第3四半期) (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	(平成18年3月期第3四半期) (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	平成17年3月期 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
		金 額	金 額	金 額
投資活動によるキャッシュ・フロー				
1. 有価証券の売却による収入			5,000	
2. 有形固定資産の取得による支出	1,999,320	690,405		2,245,700
3. 有形固定資産の売却による収入		361,069		38,761
4. 無形固定資産の取得による支出	543,676	617,316		629,298
5. 投資有価証券の取得による支出	1,259,935	720,000		3,182,935
6. 投資有価証券の売却による収入				238,024
7. 関係会社株式の取得による支出		300,000		10,000
8. 新規連結子会社の取得による 収入・支出()		662,560		896,150
9. 連結の範囲の変更を伴う子会社 株式の売却による収入		8,914		
10. 貸付による支出	24,000	209,450		24,000
11. 貸付金の回収による収入	71,983	220,198		83,158
12. 敷金保証金の解約による収入	91,330	241,931		103,463
13. 敷金保証金の差入による支出	130,563	14,074		466,414
14. 長期前払費用の支出	23,048	46,616		33,727
15. 保険積立金の積立による支出	819	683		1,092
16. その他	239,480	56		23,543
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,578,570	2,423,936		5,257,154
財務活動によるキャッシュ・フロー				
1. 短期借入金の増加・減少()額	2,770,000	220,200		2,570,000
2. 長期借入による収入	520,000			520,000
3. 長期借入金の返済による支出		262,201		27,000
4. 社債発行による収入		97,600		489,250
5. 新株式発行による収入	13,150,847			13,100,659
6. 少数株主からの払込による収入		206		
7. 配当金の支払額	1,271,695	1,284,808		1,335,027
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,629,151	1,145,001		10,177,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,912	8,383		1,913
現金及び現金同等物の増加・減少()額	1,903,147	2,276,270		7,888,497
現金及び現金同等物の期首残高	5,437,758	13,326,256		5,437,758
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加・減少()額		1,388		
現金及び現金同等物の四半期(期末)残高	7,340,906	15,603,915		13,326,256